

村に住む人を紹介！

今月の輝き☆ビト

東秩父に生まれて今があります！



東秩父版画を楽しむ会
高野 勉さん (安戸)

1984年に東秩父村和紙の里が開設され、東秩父の和紙を使って何かをやろうと思い、翌年に個展を開くと決め、そこに向けて独学で版画作りを始めました。1987年に版画仲間と「東秩父版画を楽しむ会」を発足。2004年から東秩父村和紙の里で版画フォーラムを開催し、ありがたいことに今年で20周年です。第1回目の反響は大きく、全国から多くの方に来ていただきました。

東秩父という地の利と地域の皆様や版画仲間、その愛好家など、多くの方に支えていただいたおかげです。ありがとうございました。



私には版画から派生したライフワークが二つ。一つは『HAND』という雑誌作りで、版画仲間や彫刻家、創作活動に関心を持つ企業経営者たちが、毎回テーマを設けて寄稿する創作活動の情報誌を年3回、2000部を発行して8年になります。二つ目は毎月第2日曜日に埼玉新聞に掲載されるコラム『比企を彫る』の執筆です。毎月1点、版画仲間から交代で寄せられる版画を基に取材し、記事を書かせていただき、作品と共に新聞に寄稿しています。読者の皆様に支えられ長期連載となり、この10月で104回目です。取材の過程で新しい発見があることにやりがいや楽しさを感じ、読者の皆様に感謝です。いずれも、長く東秩父村役場に勤めさせていただき、広報などを担当させていただいた経験が財産となりました。「村に生まれ、仕事をさせていただき今がある」と感謝しています。